地域おこし協力隊通信

「鹿部温泉観光協会担当」
岩岸　悟　隊員

2024年の年間訪日外客数は3,600万人で、過去最高であった2019年の3,100万人を約500万人上回り、年間過去最高を更新しました。訪日外国人の桜・紅葉シーズンや夏の学校休暇など、ピークシーズンを中心に各市場が過去最高を更新し、東アジアのみならず東南アジア、欧米豪・中東においても実数を増やしたことが、年間過去最高の更新に繋がりました。日本人国内旅行消費額においても25兆1175億円に達し、過去最高を記録し、国内旅行需要は堅調に推移しています。今後は地域（地方）への来訪を通して、観光による地域活性化がますます期待されています。

JNTO（日本政府観光局統計から）

1．観光商品開発へ向けて

観光地マーケティングのステップ

○認知

まず、消費者は自分が認知していないとその商品を買うことはありません。

低額商品をオンラインで買うのと異なり、ある程度の時間と資金を投入する際には、購入するブランドを事前に認知していないとそのブランドを考慮・検討し優先度をもって実際に往訪準備をするという段階が望まれます。潜在的に来訪者に「認知」してもらうステップが最初の挑戦になります。

○考慮・検討・優先度

認知をしてもらえれば、来訪者に考慮・検討してもらうことが可能になります、認知ステップと次の考慮・検討、次の優先度まで抜けることが可能です。その手段となるのが、ストーリー構築と発信と言われています。

○往訪意図、実際の往訪

ストーリーに魅了されて実際に往訪した観光客にとっては、そのストーリーを自分で確認できるような経験・体験を地域で供給（受入環境）できることが必要要件で重要となります。

そもそも観光商品開発とは、その地域が独自に持つ歴史や文化、自然、産業、生活、人とのコミュニティといった地域資産を生かしたストーリー構築が有効な手段のひとつと言われ、来訪者の拡大を目指す地域が多くなっています。

鹿部町での１年の活動を通して、「外国人や国内の幅広い来訪者」を実感しております。引き続き町の観光素材の掘り起こし、ストーリー構築、周辺地域との連携強化を図りながら、鹿部町への誘客活動に努めて参りたいと思います。

【６月のゴミ回収量（一般ゴミ）】

全体　76.38ｔ
（昨年度同月回収量74.33ｔ　約2.75%増）
内訳　焼却処分　56.55ｔ
リサイクル　15.35ｔ
埋立処分　4.48ｔ

混ぜればゴミ！分ければ資源！地球温暖化による環境への負担などを減らすため、ゴミの分別・減量にご協力をお願いします。

鹿部町内不法投棄等監視パトロール実施中!!

～不法投棄は絶対にしないようにしましょう～

不法投棄をすると５年以下の懲役か１千万円以下の罰金を科せられます（併科の場合あり）。